

教養教育の理念

本学の教養教育の理念として、次の4項目を掲げます。

1. 総合的な学びを通して社会における自分たちの位置づけを知り、薬学の学修に真摯に取り組む人材を育成します。
2. 問題や困難に際し、的確な判断を下すための高度な倫理観と批判的な思考力を備えた人材を育成します。
3. 医療や社会福祉に携わる一市民として、自らも心身の健康に留意し、生涯にわたり主体的に人格の陶冶と学修に努める人材を育成します。
4. 他者とのコミュニケーションを通して、多様な価値観を尊重しながら協調性を発揮できる人材を育成します。

〈編集後記〉

東北薬科大学一般教育論集が東北医科薬科大学教養教育論集と名称が変更になり最初の記念すべき論集ができあがりました。教員組織も教養教育センターとなり新しい方が4人加わりました。大学基礎論・授業など忙しい中でも論文を書かれた方、また、関係者の皆さんに感謝申し上げます。今後、さらに飛躍したいと考えています。関係者皆さんのご協力をよろしくお願いします。(棚橋)

本論集が昭和63年に創刊されて30年が経過しました。先人の尽力に敬意を表します。一つ残念なのは、本学の専任教員になって以来7年間毎年投稿してくださった心理学の杉山雅宏先生が、今年度を最後に退職することになったことです。新天地での益々のご活躍をお祈りしています。本学は医学部設置に伴い、最近は体制もかなり変化しましたが、時代が変わっても色褪せない内容の論集ができるように、今後も努力していきたいと思っています。(小島)

東北医科薬科大学
教養教育関係論集 30

平成29年3月20日発行

発行者 〒981-8558 仙台市青葉区小松島四丁目4番1号

東北医科薬科大学

理事長・学長 高柳元明

印刷所 (有)タニウチ印刷